平成 28 年６月６日

各位

会 社 名　株　式　会　社　ラ　ッ　ク
代表者名　代表取締役社長　髙　梨　輝　彦
（JASDAQ・コード番号：３８５７）
問合せ先　ＩＲ広報室長　岩　﨑　　勝
電　　話　０３－６７５７－０１０７

ラック、サイバー保険の代理店業務を開始
～損保ジャパン日本興亜株式会社と共にサイバー保険の普及啓発を開始～

株式会社ラック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：髙梨 輝彦、以下ラック）は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社（以下「損保ジャパン日本興亜」）と損害保険代理店委託契約を締結し、サイバー攻撃に対応するサイバー保険の取り扱いを開始します。

サイバー攻撃は今や日常の出来事

いまや情報システムは、企業が事業運営を行ううえで無くてはならない基盤となっています。それに伴い、情報システムに蓄積された機密情報を狙う犯罪行為や、情報システムを活用して提供されているサービスを営業妨害するようなサイバー攻撃が日常化しており、警察庁が発表しているように被害件数、被害金額は拡大を続けています。

ラックはこのような状況を予見し、2000年2月に「不正アクセス緊急対応サービス」をスタートし、2009年には現在のサービスである緊急対応サービス「サイバー119」に形を変えてサービスを提供しています。同サービスの対応件数は年々増加を続け、昨年2015年度は350件を上回る緊急対応を行いました。

被害を受けた企業の課題

サイバー攻撃を受け被害が発生した企業は、調査のために業務を停止しなければならない経済的なダメージと、被害を受けた被害者であるにもかかわらず企業ブランドイメージが低下するダメージにさらされます。このダメージを最小限に抑え、最短時間で事業回復させるためには、可能な限り早い段階で状況を把握し、正確に状況を公表・謝罪し、しかるべき対策を行う必要があります。

しかしながら、ラックがこれまでに対応したケースでは、被害を受けた企業は次のような状況に陥ることがわかりました。

- 被害の実態把握を行うための初動対応を牽引する専門家がいないため、あらゆる決断が後手に回る。
- 初動およびリカバリーで発生する費用の予測がつかず、実施の決断が遅れることによる致命的な事業への悪影響が発生する。
- 被害が確認された場合に、記者会見やお詫び状の作成など、適切な情報開示を行う経験が無いため対応が遅れる。

そこでラックは、サイバー攻撃による被害を受けた企業が、事故対応経験や対策費用を心配することなく有事を乗り越えるための準備として、「サイバー保険」（引受保険会社：損害保険ジャパン日本興亜株式会社）の取り扱いを開始し、「緊急時サポート総合サービス」により企業の事業存続を強力にサポートいたします。

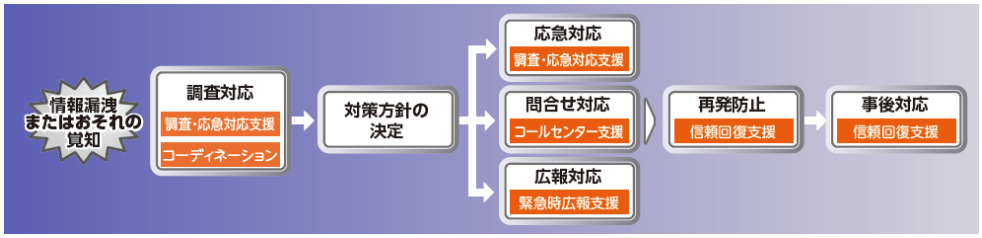
「サイバー保険」の特徴

「サイバー保険」とは、サイバー攻撃による被害を被った企業が、事故の初動対応および事態収拾にいたる5つの対応のステップにおいて発生した費用の補償と、それぞれの対応ステップに精通した専門企業を紹介することが可能な、トータルサポート保険です。

緊急対応時の支援は、調査・応急対応支援、緊急時広報支援、コールセンター支援、信頼回復支援、コーディネーション支援の分野に分かれ、それぞれの対応には専門企業が支援します。

契約企業は、被害の恐れがある場合に損保ジャパン日本興亜のサポート窓口へ連絡するだけで、必要なサービスを提供する企業を選定し、お客様の支援が直ちに開始されます。

お客様は、費用や担当者などを気にせず、信頼の回復だけに集中した対応を行うことが可能となります。



調査・応急対応支援	□事故判定 □原因究明支援 □影響範囲調査支援 □被害拡大防止ｱﾄﾞﾊﾞｲｽなど	**㈱ラック** 取引先には、防衛省（陸、海、空）、警視庁などの官公庁が多く、日本を代表するセキュリティ会社
		AOSﾘｰｶﾞﾙﾃｯｸ㈱ データ復旧ソフト15年連続市場シェア売上No.1の実績と捜査機関及び民間企業への豊富な調査支援実績を有する企業
緊急時広報支援	□記者会見実施支援 □新聞社告支援 □SNS炎上対応支援 □Webﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ、緊急通知支援など	**㈱ブラップジャパン** 危機管理専門のコンサルタントやマスメディア出身者などが約200名在籍する1970年の創業の総合PR会社
		ウェーバー・シャンドウィック㈱ 世界最大級の広告・マーケティング会社グループであるインターパブリックグループ傘下企業
		㈱エルテス 風評被害対策のパイオニアであり、政府系ファンド等からの出資もあり、メディアにも多数紹介されている企業
コールセンター支援	□コールセンター立上げ □コールセンター運用 □クロージング支援など	**㈱ベルシステム24** 全国約2万人のオペレーターを雇用しており、業界内において最大規模の企業
信頼回復支援	□再発防止のために新たな体制整備を行い認証制度を取得する □再発防止策の実施状況について証明書を発行 □結果公表支援など	**㈱アイ・エス・レーティング** 技術情報、営業機密、個人情報のセキュリティのレベルを判定する世界初の情報セキュリティ格付専門会社
コーディネーション	□各種サポートの調整 □法令対応等について弁護士事務所などを紹介など	**SOMPOリスケアマネジメント㈱** 企業のリスクマネジメント活動を支援する損保ジャパン日本興亜グループのリスクコンサルティング会社

なお、本「サイバー保険」は、ISMS認証を取得している企業に対しては、セキュリティリスクの軽減が行われていると評価し、最大で**通常保険料の40%を割引**して提供いたします。また、**JQA社、BSI-J社**

のISMS認証取得企業には最大60％を割引して提供いたします。

本保険の掛け金は、技術対応費用額や賠償責任の範囲や価格により変化します。
詳細に関しては、株式会社ラックへお問い合わせください。
「サイバー保険」（引受保険会社：損害保険ジャパン日本興亜株式会社）http://www.lac.co.jp/service/insurance/index.html

以上

【 株式会社ラックについて 】　（http://www.lac.co.jp/）

ラックは、1986年にシステム開発事業で創業、多くの実績を誇る「金融系の基盤システム開発」「マーケティング・オートメーション支援」「ビッグデータ・アナリティクス」を始め、社会の基盤システムの開発を行っています。1995年にはいち早く情報セキュリティ事業を開始し、現在ではサイバーセキュリティ分野のリーディングカンパニーとして、官公庁・企業・団体等のお客様に業界屈指のセキュリティ技術を駆使した、先端のITトータルソリューションサービスを提供しています。2015年には、米フロスト＆サリバンより、「セキュリティ監視」「脆弱性診断」「セキュリティ事故対応」「セキュリティコンサルティング」などが高く評価され、「日本市場マネージドセキュリティーサービス プロバイダー最優秀賞」を受賞しています。

＊ラック、LACは、株式会社ラックの国内及びその他の国における登録商標または商標です。
＊その他、記載されている会社名・団体名、製品名などは、各社の登録商標または商標です。

この件に関するお問い合わせ

■ 掲載記事のお問合せ先には、こちらをご紹介ください。
株式会社ラック
Tel： 03-6757-0113（営業）　E-mail： sales@lac.co.jp
■ 本件に関する取材のご要望は、こちらにご連絡ください。
株式会社ラック　IR広報部　広報担当
Tel：03-6757-0107（広報部門）、03-6757-0130
E-mail：pr@lac.co.jp　Twitter： @lac_security
Facebook： https://www.facebook.com/Little.eArth.Corp/
